

# 東京地連が再建、今まで以上に関東と共に闘っていく

## 東京地連に大きな期待の声

2012年2月7日 東京地連が再建、(東京地連再建大会)



2月7日、東京地連再建大会が全自交労働会館で開かれました来賓として全自交労働連犬飼副委員長（愛知地連委員長）から祝辞を受けました。

新しい東京地連に対して、関東地方協議会からは、神奈川地連矢野委員長、千葉地連羽原委員長、茨城地本須澤委員長、群馬地連柏木委員長、山梨地連中村委員長から挨拶を受け、伊藤全自交労働連中央執行委員長より大和田東京地連執行委員長に東京地連の団結旗が渡されました。

冒頭、全自交労働連の松永書記長が司会を担当し、東京地連の再建経緯を説明しました。その中で、盛岡での全自交労働連第67回定期大会で主催者の中央執行委員長自ら大会をボイコットし、日交労を除いた東京地連に退場を促した前代未聞の行動、選挙妨害、それに同調した役員に強い憤りを表明し「大会で生じた組織問題を中央執行委員会などの機関会議に出席し、東京地連が退場しボイコットしたことにしっかりした弁明があるだろうと何度も要請したが、一切拒否し続け、新潟の公取委カルテル問題対しても行動せず、事実を偽った文書の配布や誹謗中傷を繰り返したことによって労働連の統制委員会を経て中央委員会で東京地連が除名されました。しかし、東京での運動を停滞させないため、速やかに地連を再建させることが中央委員会で確認され本日に至った」としました。

大会は議長に藤田健一（日交労）さん、書記に黒木守（日交労）さんを選出。杉浦資格運営委員長から報告を受け、大和田再建準備委員長から準備委員会報告があり、来賓として犬飼労働連副執行委員長（愛知地連委員長）から祝辞を受けました。

犬飼副委員長は再建された東京地連に大きな期待を表明。関東地方協議会からは神奈川地連の矢野委員長、千葉地連の羽原委員長、茨城地本の須澤委員長、群馬地連の柏木委員長、山梨地連の中村委員長からあいさつを受けました。



多くのあいさつの中で地方では全自交の看板が大きな意味を持っている。東京地連が再建されることで今まで以上に関東とともに闘っていける状況を作り上げていくとの決意が表明され、その後、大和田再建準備委員長から東京地連の役員選出の提案があり満場一致で承認されました。

